

## 感染症情報 8月13日～19日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

|            |         |      |
|------------|---------|------|
| ①感染性胃腸炎    | 494例(堺市 | 17例) |
| ②RSウイルス感染症 | 351例(堺市 | 38例) |
| ③ヘルパンギーナ   | 228例(堺市 | 17例) |
| ④溶連菌感染症    | 146例(堺市 | 18例) |
| ⑤手足口病      | 133例(堺市 | 20例) |

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

|         |       |     |
|---------|-------|-----|
| インフルエンザ | 5例(堺市 | 0例) |
|---------|-------|-----|

が報告された。

感染症報告数はお盆の影響で前週比18.9%減の1,570件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より13%減、堺市では前週より51%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週より10%減、堺市で42例→38例は10%減であった。ヘルパンギーナは府下で前週より31%減、堺市で15例→17例であった。溶連菌感染症は府下で前週より32%減、堺市では前週32例→18例であった。手足口病は府下で前週より27%減、堺市では前週7例→今回20例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。